

CASBEE[®]-不動産

【集合住宅】

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産 2024年版

v1.11

建物概要					
建物名称	D'sVARIE高田馬場レジデンス	敷地面積	220 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都新宿区	建築面積	149 m ²	評価の実施日	2026年6月22日
用途地域	第一種低層住居専用地域、準防火地域	延床面積(評価対象分)	517 m ²	作成者	若山 香保
建物用途	共同住宅	階数	地上3F、地下1F	不動産評価員番号	ふ-001182-27
竣工年月	2022年4月15日	構造	WRC造	確認日	2026年6月22日
直近の大規模改修実施年月	20XX/XX/XX	平均居住人員	31 人	確認者	若山 香保
部分評価の場合の特記事項	例)建物全体延床面積〇〇㎡	年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001182-27

評価結果									
72.3 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		≧	78						
A ランク:★★★★		≧	66						
B+ランク:★★★★		≧	60						
B ランク:★★★		≧	50						
		≧							
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
				取組項目数：A1-A5			B1,B3-B5		
				B6-B7			C1-C4		

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値	
適合	加点 1	根拠等:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)	352.3	MJ/m ² ・年
20.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)		MJ/m ² ・年
		根拠等:BEI値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	二次エネルギー(*)		kWh/m ² ・年
		BEI=0.79	GHG排出量(*)		kg-CO _{2eq} /m ² ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	一次エネルギー(実績値)	355.9	MJ/m ² ・年
		根拠等:エネルギー消費量実績値一覧参照	二次エネルギー(*)	36.5	kWh/m ² ・年
		二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	GHG排出量(*)	15.6	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
		GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO2/kWh(電気)			
	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数		項目
		根拠等:共用部の評価			
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)	利用率		%
		根拠等:導入していない			
28.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等:目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	130.7	L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
1.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等:特になし	取組数		項目
3.0	5	2.3 水使用量(実績値)	水使用量(実績値)	132.0	L/m ² ・年
		根拠等:水使用量実績値一覧参照			
4.0	10	合計			

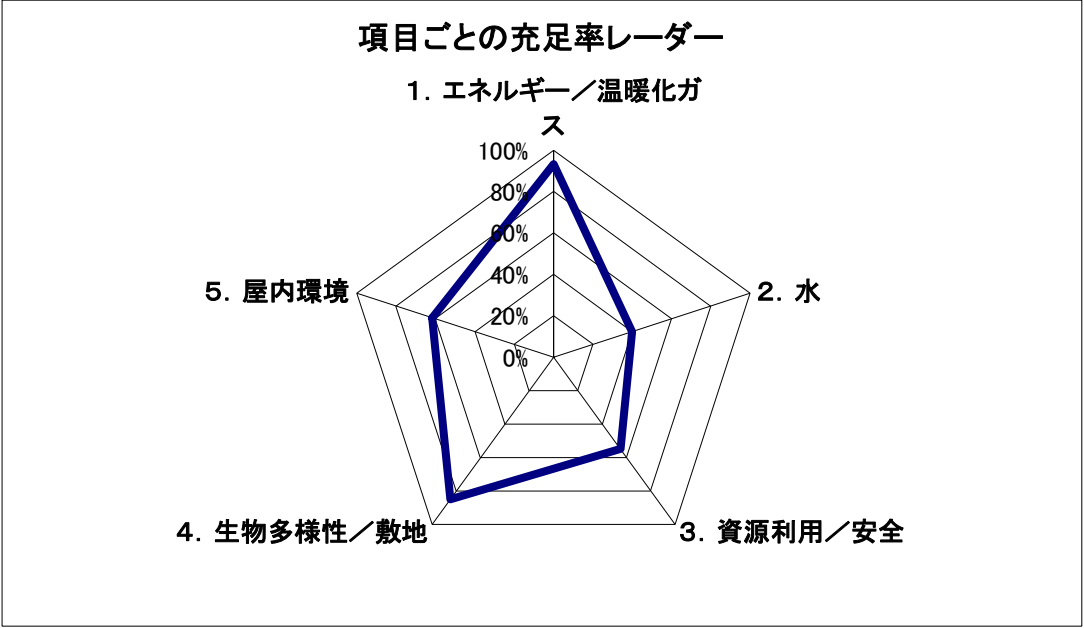
3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等:新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性	建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能	導入していない		
3.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料	使用していない		
5.0		② 非構造材料	リサイクル資材を使用している	リサイクル材品目数(非構造材)	3 品目
2.0		3.2.2 廃棄物処理抑制	取組数	2	ポイント
	加点 1	根拠等:1)、3)			
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
		根拠等:建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均		
2.0		3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	更新年数の平均値	17	年
2.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	自給率向上の取組数		項目
		根拠等:計算式参照	維持管理に関する取組数	10	ポイント
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上			
		根拠等:特になし			
4.0		3.4.3 維持管理			
		根拠等:1)、2)、4)、5)、6)			
1.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等:			
11.0	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		
		根拠等:特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用している	②取組表による場合のポイント数	2	ポイント
8.0	10	4.1 生物多様性の向上			
		根拠等:1)、3)			
4.2対象外の時は点数を倍)		4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生			
0.0	0	根拠等:土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない			
[対策不要は対象外]		4.3 公共交通機関の接近性			
5.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	8	分圏内
5.0		根拠等:下落合駅 徒歩7分			
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない		
4.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	1	種類
		根拠等:リスクの合計数は1種あり、特段の防災対策を行っていない			
17.0	20	合計			

5. 屋内環境				
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合		
		根拠等 質問票への適合	なし	
5.1 自然利用				
2.3	3	5.1.1 屋光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3	
3.0		5.1.1.1 自然採光		
		根拠等 計算式参照	開口率	42.1 %
1.0		5.1.1.2 屋光利用設備		
		根拠等	屋光利用設備	種類
1.0	3	5.1.2 通風・排熱		
		根拠等 居室に自然換気開口がある		
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり		
		根拠等 天井高2.4m以上、かつ居住者が十分な屋外の情報を得られる窓の設置	天井高	2.4 m以上
5.2 健康・快適				
1.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ		
		根拠等 レベル2を満たさない		
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房		
		根拠等 居室に冷暖房装置を実装している		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気		
		根拠等 化学汚染物質を抑える建材を使用している		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音		
		根拠等 レベル2を満たさない		
1.0	3	5.3 防犯対策		
		根拠等		
12.3	20	合計		

6. ホールライフカーボンの評価【任意】					
評価	最大(加点なし)	指標	評価値		
	5	取組数	A1-A5		項目
			B6-B7		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目
↑ 評価しない場合は空欄					

D'sVARIE高田馬場レジデンス



環境性能の特徴

- ・エネルギー・水使用量の実績値が高得点であり省エネルギー性能・節水性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・非構造材料でのリサイクル材利用率が高く、再生材利用に配慮されている。
- ・維持管理対策が適切に行われている。
- ・生物多様性向上への配慮がなされている。
- ・徒歩8分圏内に交通公共機関があり利便性が高い。